

優秀賞

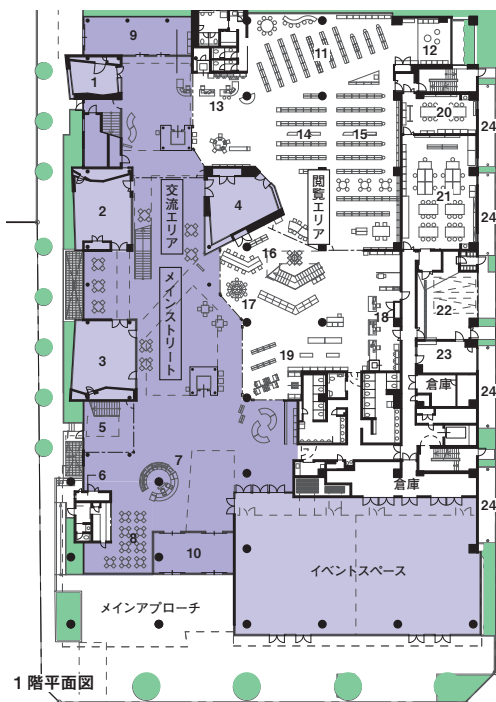
文化施設
(関東地区)

山梨県立図書館



「メインストリート」を北側から見る。街と連続するメインストリートに沿って、交流ルームやテラス空間が並ぶ

南面正面全景：前面道路を介して駅前広場と結びつく。2階の交流ホールが駅前広場に開かれる



1階平面図

- 1 交流ルーム103 2 交流ルーム102 3 交流ルーム101 4 交流ルーム104 5 南階段 6 返却ポスト
- 7 総合案内 8 カフェ 9 風除室(北) 10 風除室(南) 11 児童資料コーナー 12 よむよむスペース
- 13 児童カウンター 14 子供読書支援センター 15 ティーンズコーナー 16 視聴覚コーナー
- 17 地域情報コーナー 18 サービスカウンター 19 新聞・雑誌コーナー 20 ボランティア活動室
- 21 作業室 22 搬入スペース 23 守衛室(中央監視室) 24 自転車置場

所在地	山梨県甲府市北口2-8-1
敷地面積 (m ²)	9,062.01
建築面積 (m ²)	3,960.24
延床面積 (m ²)	10,851.84
構造 / 階数	S造、RC造、SRC造 / 地上 4階・地下1階
事業者	山梨県

設計者	久米設計・三宅建築設計事務所 JV
施工者	清水建設・早野組・国際建設 山梨県立図書館建設工事JV
竣工年月	2012(平成24)年3月
総工事費	3,694百万円

「賑わい」と「静謐さ」という相反する機能要求に対して、音響環境の入念な技術的検討に基づき、各機能に対応する「場」を重層的・段階的に配置している。お互いの活動を視認できる開放性の高い吹き抜けと、「メインストリート」と名付けた賑わい軸を中心に、交流エリア、サイレントルームなどが巧妙に配置され、利用者により刺激を与えている。

弓形下弦材とかご状トラス上弦材で構成される特徴的な屋根架構は、意匠、構造及び設備が一体となったものであり、モックアップにより入念な技術的検討を行い、施工時の構造解析、現場施工精度向上を図っている。

県民総人口83万人に対する年間来館者数は、開館以来毎年90万人以上を維持している。これは、県立図書館来館者数全国2位で、旧図書館比6倍、中高生来館者は15倍である。また、地域の書店や取次店と連携したタイアップイベント開催にも積極的に取り組み、全県的な読書推進活動に繋がっている。

105kwの太陽光発電は、年間日照時間が日本最多という地域性からも効果的で、年間電力使用量の8.5%を充足している。天井北側に設置したハイサイドライトからの自然光導入は均質で明るい図書館の室内環境に貢献しており、省エネ効果も大きく、照明消費電力は20%減となっている。

「多様な人々が交流する県立図書館」というコンセプトの下、地域の新たな生涯学習・知的創造の場を目指した企画意図は、事業者・専門家・利用者等を交えた検討プロセスと実現に向けた努力により、見事に結実しており、今後の公共施設づくりの方向性を示唆している。

開かれた図書館

図書館は、もっと街に開かれた場所であるべきだというのが、計画から設計へと進む中で考えられたことでした。実現したのは、壁や天井によって閉ざされることなく、明るく、開放的な雰囲気を持ち、街と連続した空間であることを強く意識した建物です。誰もが日常的に気軽に利用できる図書館であり、JR甲府駅前という好立地も作用して、開館前の想定を大きく上回る年間90万人以上が来館し、様々な用途で利用しています。多くの人が集まり、多彩な活動が可能な図書館は、そこに行くとかんがえたいという期待を感じさせる場所になっています。

(千野国弘・山梨県立図書館司書幹)